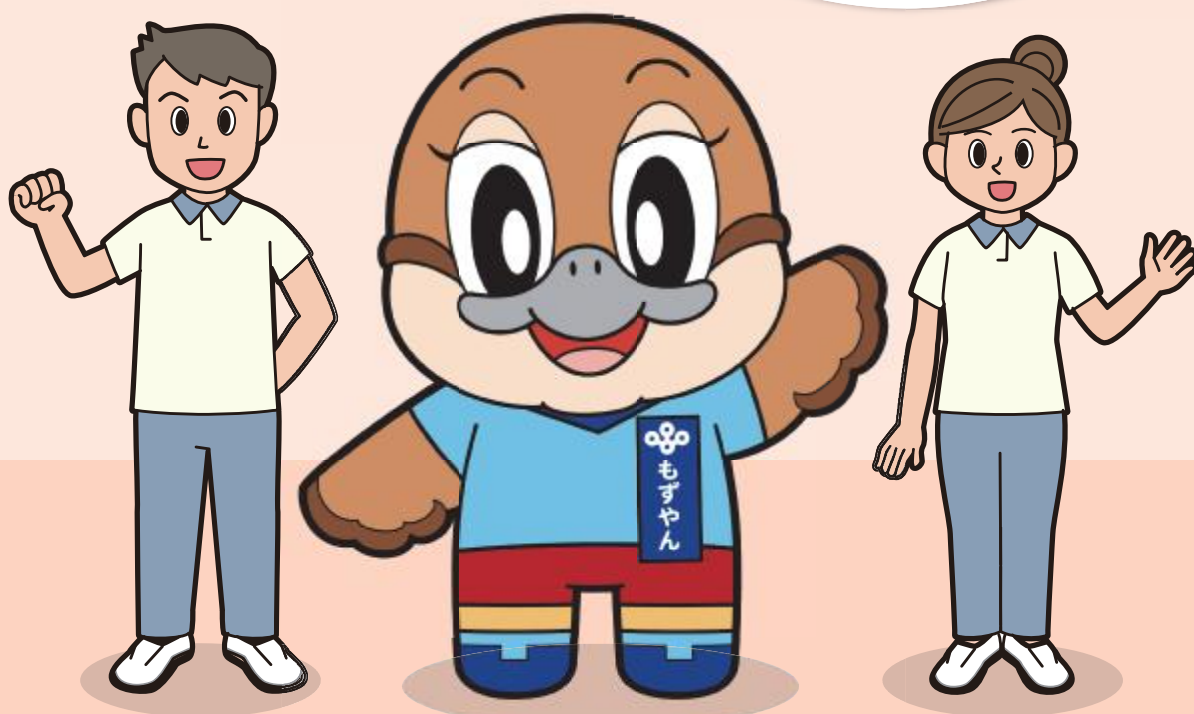


社会福祉施設等向け

新型コロナウイルス 感染症対応 早わかりブック

利用者が発熱したとき、
感染症かもしれないとき…
困ったときに見よう!



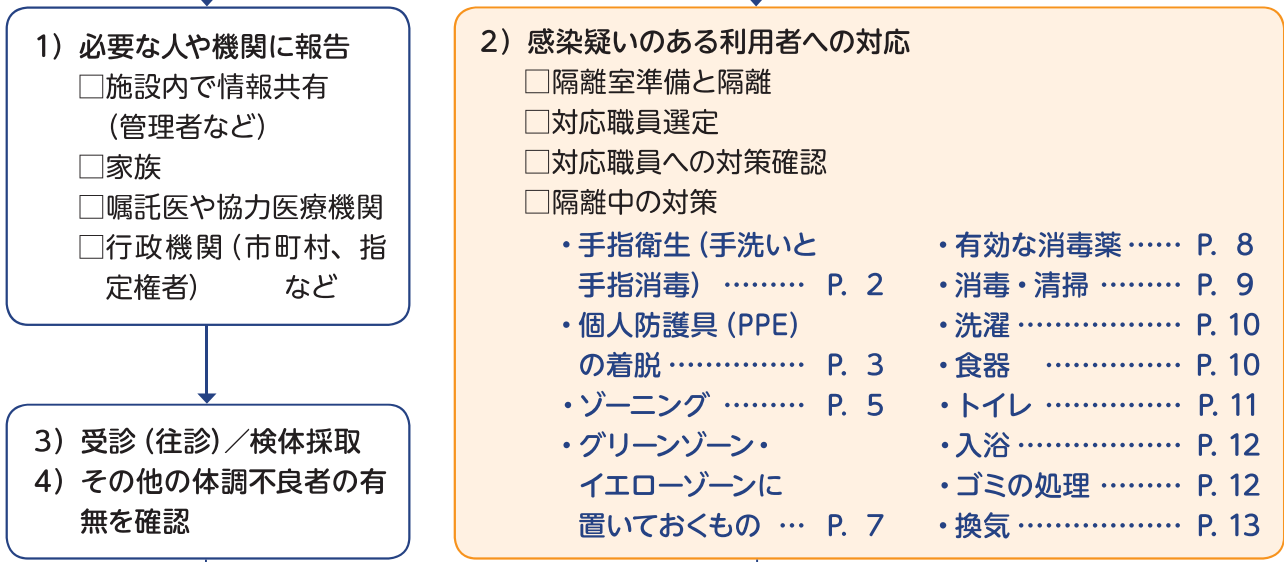
新型コロナウイルス感染症発生時のやることリスト

リストを参考に役割分担をし、みんなで協力して乗り切りましょう！

CHECK! あらかじめ各業務の担当者を決めておきましょう
対応表ダウンロード →



感染疑い事例発生



検査陽性

CHECK! 陽性とわかったら、速やかに感染を拡げない対策を！
結果が陰性でも発熱や咳などの症状が続く場合は隔離対応を続けます

5) 保健所と連携

- 濃厚接触者特定のための協力
- 通所施設等休業の検討

CHECK! 施設の管理者は日ごろから保健所と連絡を取り合い、関係性を作っておきましょう

6) 濃厚接触者への対応 …… P. 14

- 利用者隔離
- 職員自宅待機

7) 業務調整・職員確保

CHECK! いざという時に備えて、ふだんから職員の健康管理、面会者の健康確認をしましょう

8) 個人防護具や消毒薬の在庫確認と確保

CHECK! ふだんから在庫管理を適切に行いましょう

9) 情報共有・情報発信
10) 職員のメンタルヘルスケア

CHECK! 施設内では職員に正しい情報をタイムリーに伝えましょう

職員用
健康チェック表
ダウンロード



面会者
健康確認表
ダウンロード



この冊子の使い方

社会福祉施設等で、新型コロナウイルス感染症の陽性者もしくは疑いのある方が発生した時の対応をまとめたものです。
事前に内容を確認し、もしもの時に職員全員が動けるよう、シミュレーションしておきましょう。

手指衛生 (手洗いと手指消毒)

動画でチェック! →



●手洗い



①両手を水で濡らす



②石けんを適量とる



③良く泡立てて手のひらを洗う



④両手の指の間を洗う



⑤手の甲を洗う



⑥指先を手のひらにこすりつけて洗う



⑦親指を反対の手でねじるように洗う



⑧手首もねじるように洗う



⑨流水で石けんをきれいに洗い流す



⑩ペーパータオルでたたくようにして水分をとる



⑪手を拭いたペーパータオルで水道のレバーをpushさえ水を止める

CHECK!

洗い残し注意!

- ・指先
- ・指の間
- ・手首

POINT!



- 石けんで10秒もみ洗い後、流水で15秒すすぎます。
- 目に見える汚れがある時は必ず石けんと水で、それ以外は手指消毒薬による手指消毒、石けんと水による手洗いのどちらでも良いです。
- 手洗い場は清潔にし、乾燥させます。水がはねやすいので、手指消毒薬などを置かないようにしましょう。

●手指消毒



①手指消毒薬を手のひらに取る



②たまった手指消毒薬に指先をつけて手のひらにこすりつける



③手のひらを消毒



④両手の指の間をこすりつけ消毒



⑤手の甲を消毒



⑥指の間も消毒



⑦親指を反対の手でねじるように消毒



⑧手首もねじるように消毒し、最後に手全体が乾燥するまでこする

CHECK!

手指消毒薬は、自分の手全体に行き渡る量を使用しましょう (約2-3mL)

NG!

手指消毒薬や石けん液の継ぎ足しは厳禁です容器を洗って乾燥させてから入れましょう

POINT!



- 手が荒れると汚れが落ちにくくなりますので、手のケアもしましょう。
- 日ごろから食事介助や排泄介助、清掃の前後などのタイミングで手洗いや手指消毒を習慣にしましょう。

個人防護具 (PPE) の着脱

動画でチェック! →



～解説編～



～実演編～

必要な個人防護具

- 長袖ガウン
- マスク
- キャップ
- フェイスシールド等*
- 手袋

CHECK! 手袋は、着けるときは最後に、脱ぐときは最初に外します

CHECK! フェイスシールドやゴーグル等を再利用することがあります
再利用する場合は、新型コロナウイルスに効果のある消毒薬で全体を消毒してから使用しましょう

*フェイスシールド等とは、フェイスシールド、ゴーグル又はアイシールドのいずれかです。

●個人防護具の脱ぎ方

一首と腰のひもが、簡単にちぎれるタイプのプラスチックガウンの場合



CHECK! 腕が露出しないように
ガウンの上から手袋を
重ねます



CHECK!

- ・ガウンの袖に親指の穴を開けて通すと袖のめくり上がりを防ぐことができます
- ・親指フックタイプのガウンもあります

1. 手袋を脱ぐ



手袋の脱ぎ方



①手首部分の外側をつまみます



②手袋を裏返すように脱いでいきます



③脱いだ手袋は反対側の手に握ります



④手袋表面に触れないよう、手首の内側から指を差し込みます



⑤外した手袋を包み込むように手袋を裏返し脱いでいきます



⑥所定の場所に廃棄します



2. 手指消毒



3. 長袖ガウンを脱ぐ *ガウンの表面に触れないようにする!



①首の部分を持って引きちぎり、肩から脱ぐ



②腕の内側を持ち腕を抜く



③腰ひもを引きちぎる



④内側が表になるようにまとめ廃棄



4. 手指消毒



5. フェイスシールドを外す



①後頭部のゴムの部分を持ち頭から外し廃棄



6. キャップを外す



①内側に手を入れ、後頭部から外し廃棄



7. マスクを外す



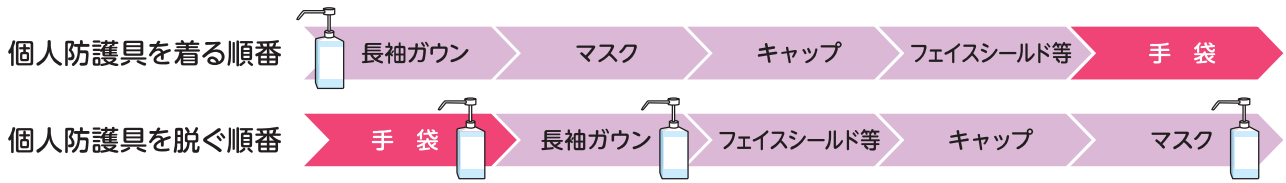
①ゴムの部分を持ち顔から外し廃棄



8. 手指消毒



ポスター形式で
ダウンロード →



●個人防護具の脱ぎ方
—首と腰のひもが、ちぎれないタイプの不織布ガウンの場合



CHECK!

ひもは必ず後ろで
結びます



CHECK!

腕が露出ないようにガウンの
上から手袋を重ねます

1. 手袋を脱ぐ



P.3 **手袋の脱ぎ方** 参照

2. 手指消毒



3. 長袖ガウンを脱ぐ *ガウンの表面に触れないようにする!



①首の後ろのひもをほどく



②そのままひもの部分を持って、肩から脱ぐ



③腕の内側を持ち腕を抜く



④腰ひもをほどく



⑤内側が表になるようにまとめ廃棄

4. 手指消毒



- 5. フェイスシールドを外す
- 6. キャップを外す
- 7. マスクを外す

P.3 参照

CHECK!

5～7では表面にふれないように注意して外します

8. 手指消毒



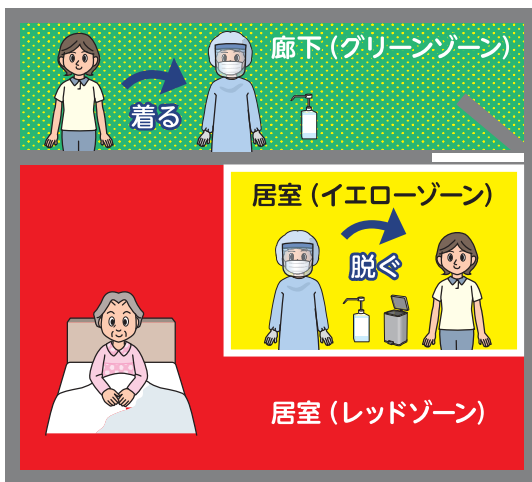
- 個人防護具は、脱衣時にウイルスに触れないよう正しい脱ぎ方と順番を守りましょう。可能ならば二人一組で、お互いに確認しあいながら行いましょう。
- 誤って“汚染している面に手が触れた”と感じた時は、あわてず、その都度手指消毒をします。一つの個人防護具を脱ぐたびに手指消毒をする方法もあります。

ゾーニング

陽性者とそれ以外の利用者・職員との動線が重ならないようにゾーニングしましょう。

レッドゾーン	新型コロナウイルス感染症の陽性者が入室されていて、コロナウイルスで汚染されている場所（常に個人防護具を着用）
イエローゾーン	個人防護具を脱ぐ場所
グリーンゾーン	コロナウイルスで汚染されていない場所（個人防護具を着用していない場所）

●一人の陽性者を個室隔離する場合



CHECK! 個室がない場合は、あらかじめ隔離できる部屋を準備します



CHECK! 各ゾーンをカラーテープで区切ります



NG! ビニールカーテンなどで覆う必要はありません

●複数名の感染者が出た場合（室内に留まることが可能な場合）



CHECK! 居室内にトイレがないときは、ポータブルトイレを設置します

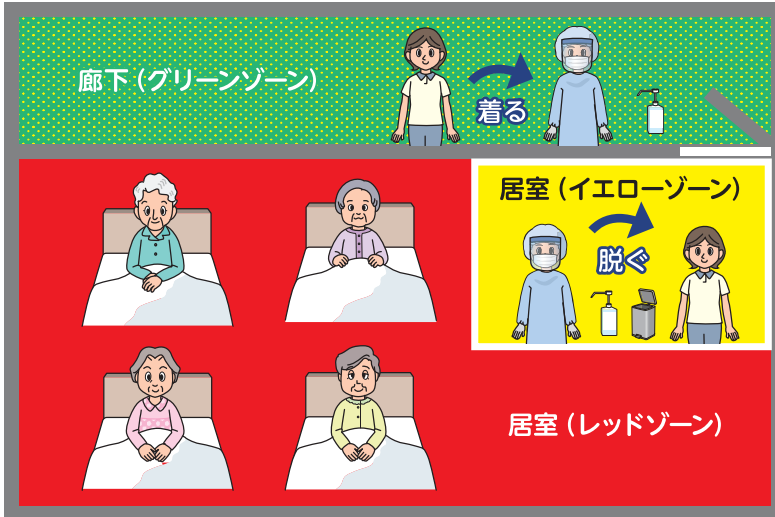
*ポータブルトイレも設置できないときの対応は、P.11「トイレ」を参照



- 個人防護具はグリーンゾーンで着用してイエローゾーンで脱ぐのが原則です。
- レッドゾーンはできるだけ狭く設定し、陽性者が増えれば拡大していきます。
- 陽性者は居室外に出ないのが原則です。食事も居室で食べてもらいましょう。入浴は控え、清拭にします。



● 複数名の陽性者が出て個室がない場合



CHECK!

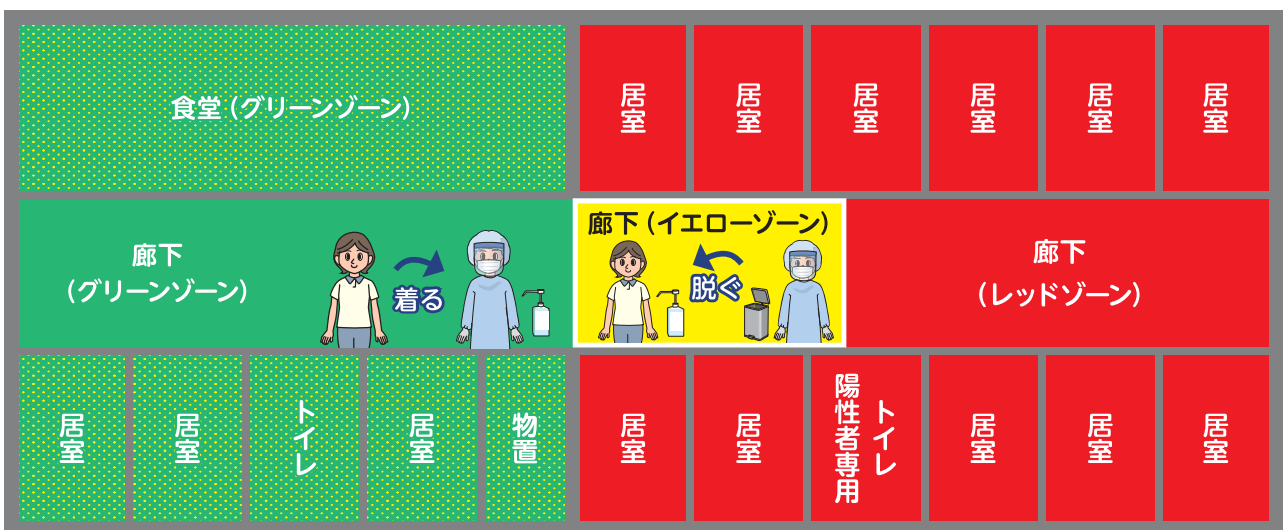
陽性者を一室に隔離する場合は、室内での陽性者間のパーテーションは不要です

NG!

陽性者と、陽性ではない(感染していない)利用者や濃厚接触者を同室にしないようにしましょう

● 複数名の陽性者が出た場合

(室内に留まることができない場合: エリアごとレッドゾーンにしたケース)



CHECK! グリーンゾーンとレッドゾーンは床にカラーテープを貼り付け境界の目安としますが、陽性者がグリーンゾーンに出てきてしまう場合、パーテーション等を設置する工夫もあります

CHECK! エリアごとレッドゾーンにした場合は、陽性者はエリア内を行き来することができます

CHECK! トイレは、レッドゾーンのエリア内にあることが望ましいです



POINT! ■ レッドゾーンでは、職員の休憩室を作らない、職員は飲食をしない、私物を持込まないようにしましょう。

グリーンゾーン・イエローゾーンに置いておくもの

●ふだんから、取組みましょう

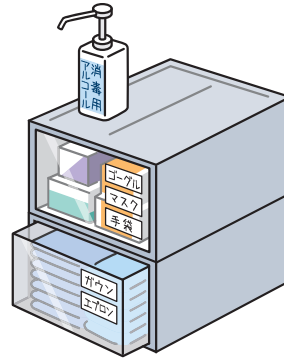
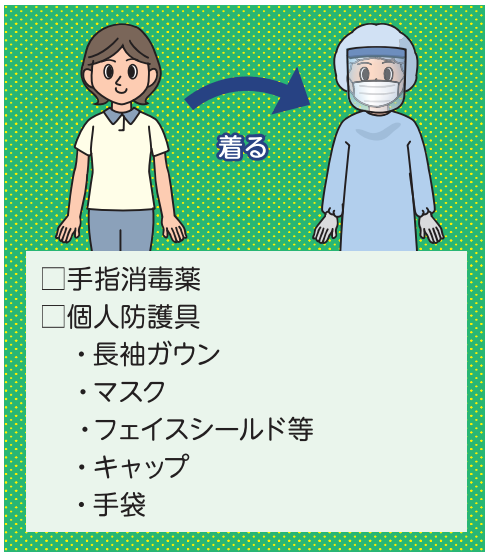
陽性者発生前に準備しておくこと

- ・フロー図
- ・ゾーニングのシミュレーション
- ・職員の役割分担を決めておく など

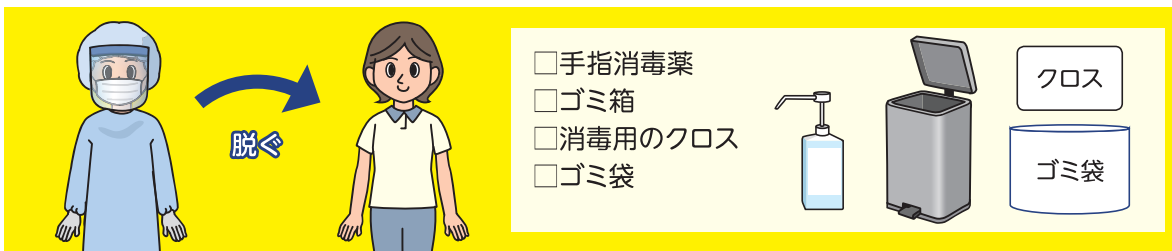
実際に動けるか
みんなで
練習しましょう

*見直しも大切です!

●グリーンゾーン



●イエローゾーン



CHECK! ゴミ袋は、フェイスシールド等の再利用時の保管や陽性者の着替え等を持ち出す際に便利です

CHECK! イエローゾーンに手指消毒薬を置けないときは、入室のたびに持ち込み、個人防護具を脱ぐ際に使用できるようにしましょう

面倒でも忘れずに!



- ゴミ箱の蓋の開閉で手が汚染されるのを防ぐため、ゴミ箱は足ふみ式にしましょう。
- 個人防護具の脱衣時に正しい脱ぎ方と順番を確認できるよう、順序等を示した写真やイラストなどをイエローゾーンに掲示しておきましょう (P.3~4「個人防護具 (PPE) の着脱」参照)。

新型コロナウイルスに有効な消毒薬

消毒薬は正しい濃度と使い方が重要です。保管方法も確認しましょう。

■方法	■濃度 製品の説明書を確認	■適しているもの	■適さないもの	■使い方・保管方法 製品の説明書を確認
熱水	80℃の熱水に10分間 ※やけどに注意	食器や箸など	手指	—
塩素系漂白剤 (次亜塩素酸ナトリウム)	濃度0.05%	テーブル、 ドアノブなど	金属製のもの、手指 (肌や目につかないように注意)	・消毒後に水拭きを ・希釈液は遮光の容器に入れます
アルコール	濃度70%以上95% 以下のエタノール	手指(医薬品・医薬部外品) テーブル、 ドアノブなど	※引火性があり、空間噴霧は危険	・手指はP.2「手指消毒」参照 ・物は拭き取り
界面活性剤入りの洗剤 住宅・家具用洗剤 台所用洗剤 など	製品の説明書に記載の濃度	テーブル、 ドアノブなど	台所用洗剤を使う場合は、家具などの塗装面、布・木などの水がしみこむ場所や材質など	・住宅・家具用洗剤は製品の記載通りに ・台所用洗剤は希釈して拭き取り。その後に水拭き
次亜塩素酸水	濃度80ppm以上	テーブル、 ドアノブなど	—	・消毒したいものの表面をヒタヒタに濡らし、20秒以上おいて拭き取り ・希釈液は遮光の容器に入れます

(参考) 新型コロナウイルスの消毒・除菌方法について(厚生労働省・経済産業省・消費者庁特設ページ)

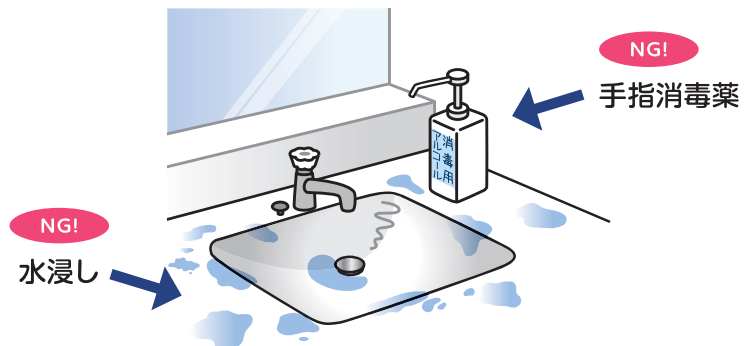


NG!

消毒薬の空間噴霧は、健康に有害となりうる可能性があり、推奨されていません

CHECK!

水がはねると不潔になるので、消毒薬は水回りに置かないようにしましょう



POINT!

- 消毒薬に応じた濃度・使用方法等を確認しましょう。
- 消毒薬を希釈する場合、その都度使い切るのが基本です。少なくとも1日1回は作り直しましょう。
- 消毒薬は冷暗所に保管します。
- 消毒薬の継ぎ足しはやめましょう。容器は空にして洗浄・乾燥させてから新しい液を入れましょう。



消毒・清掃は、人がよく触れるところを念入りに拭きましょう。



- よく触れるところ**
- ・テーブル (表面と表面以外の手が触れる部分)
 - ・ドアノブ
 - ・電気のスイッチ
 - ・椅子の背もたれ
 - ・手すり など

CHECK!

消毒・清掃は、拭き掃除が基本です
スプレーでは消毒薬が「点」でつくだけで、「面」を消毒できません
汚れがある場合は、消毒・清掃の前に汚れの部分を取り除きます

CHECK!

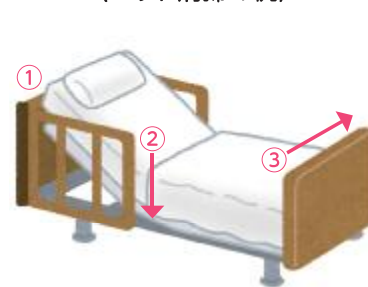
消毒・清掃の順番を守りましょう

- ・きれいなところ → 汚れのあるところ
- ・高いところ → 低いところ

〈トイレ清掃の例〉



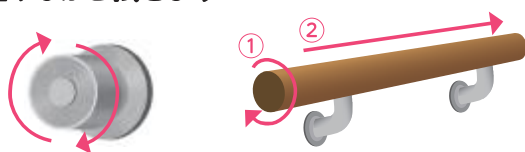
〈ベッド清掃の例〉



- ①スイッチ、ペーパーホルダー
- ②手すり
- ③便器
- ④床

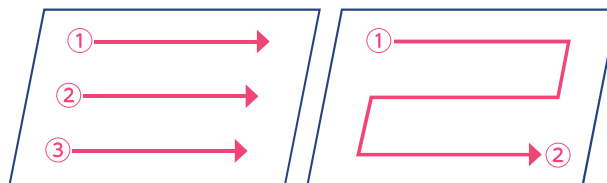
CHECK!

ドアノブ、手すりなど握って使うものは、握りながら拭きます



CHECK!

一方向に拭き取りましょう



CHECK!

ぞうきん、モップなどの布製の道具は、汚れが目立つ、臭いが気になるときは新しく取り換えましょう



CHECK!

ペーパータオルや環境クロスなどの使い捨てのものは、道具を洗浄する手間が省け、清潔に使用できます

POINT!

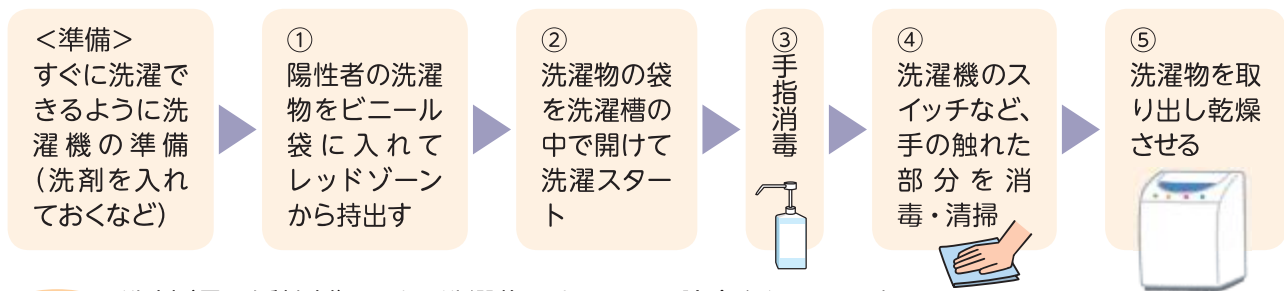


- 消毒・清掃のポイントは、①場所、②方法、③道具です。
- ①「人がよく触れるところ」を、②「拭き掃除」で、③「清潔な道具」で行いましょう。

洗濯



リネンや衣類は、いつも通りの洗剤を使い、洗濯機で洗います。



CHECK! 洗剤（界面活性剤）により洗濯物のウイルスは除去されています

POINT!



- 他の利用者の洗濯物と必ずしも分ける必要はありません。
- 洗濯機に入れる前の衣類等の消毒は不要です。洗濯後の洗濯槽の消毒も不要です。
- レッドゾーンから洗濯機までの運搬時はビニール袋に密閉し、ウイルスが他につかないようにしましょう。

食器

食器類は、残飯も含めてビニール袋に密閉して、レッドゾーンから持出します。

● 食器洗浄乾燥機を使用する場合

CHECK!

他の食器と一緒に洗浄できます

① 食器のセット完了後、手指消毒をする



② スイッチなど手の触れた部分を消毒・清掃



CHECK! 使い捨て容器を使用し、毎回、廃棄する方法もあります。廃棄方法は、P.12「ゴミの処理」を参照

● 手洗いの場合

CHECK!

他の食器とは別にして、最後に洗浄します

① シンクの中でビニール袋を開けて、食器を取り出す

② 使い捨てのタオルやガーゼ等に洗剤をつけて洗浄

③ 食器の洗浄後、シンク内や水がはねた場所など周辺を消毒・清掃



④ 食器を運んだ人・洗った人は、手指消毒をする



POINT!



- レッドゾーンからの食器の持ち出しの方法や動線などはあらかじめ施設で検討し、実際にどのような流れになるのか試してみましょう。

トイレ

陽性者もしくは疑いのある利用者のトイレは、専用になります。

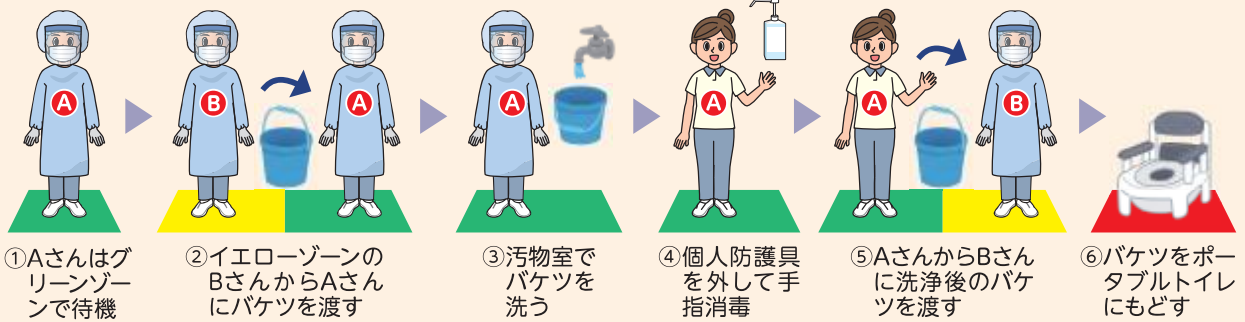
●ポータブルトイレを使用する場合

CHECK!

レッドゾーン内にトイレがない場合、居室内でのポータブルトイレの設置を検討します



<使用後のポータブルトイレの洗浄> *2名で対応します



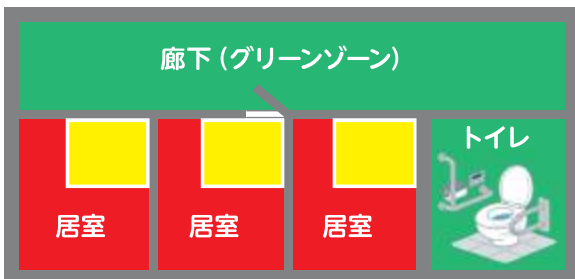
CHECK!

ポータブルトイレのバケツの中に、ビニール袋を複数枚かぶせて、その中にペットシートなどの吸収シートを入れる（使用後は廃棄）などの工夫があります
交換したおむつやポータブルトイレで使用したペットシートなどは、ビニール袋に入れて封をし、密閉します（P.12「ゴミの処理」参照）



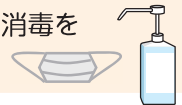
●共用のトイレを使用する場合

- ・居室からの移動やトイレを使用するときに、他の利用者と接触しないように注意します
- ・使用する個室ブースをあらかじめ決めておきます



①トイレ内に他の利用者がいないことを確認

②陽性者はマスクを着用し、手指消毒をしてから、室外に出る



③職員は个人防护具を着用し、トイレまで誘導

④使用後は、陽性者を居室へ誘導

⑤陽性者が触れた部分（手すりなど）を消毒・清掃



POINT!



- 排泄物の中には、新型コロナウイルスがたくさん含まれています。
- 排泄の介助をするときは、排泄物に直接触れなくても、必ず个人防护具を着用します。

入浴

入浴は控え、しばらくは清拭で対応しましょう。
陽性者の体調が良く入浴ができる場合は、
他の利用者と接触しないよう、十分配慮しながら行いましょう。



● 共用の浴室を使用する場合

CHECK! 居室からの移動や浴室を使用するときに、他の利用者と接触しないように注意します



POINT!



- 界面活性剤が含まれた浴室用洗剤で、消毒・清掃ができます。
- 浴室の使用後は、換気を徹底しましょう。
- ふだんから、浴室使用後は水分をふき取り、乾燥させましょう。

ゴミの処理

陽性者もしくは疑いのある利用者の居室から出たゴミは、
ビニール袋に入れて、しっかり封をして、廃棄しましょう。



NG!

ゴミを集めるときも廃棄するときも、
ゴミに直接触れないようにしましょう

CHECK!

ゴミを捨てた後は、手洗い
又は手指消毒をしましょう

POINT!



- ゴミに消毒薬を直接振りかけることは、ゴミ袋から液だれが生じる可能性もあり必要ありません。
- ゴミに液体成分が多い場合には、新聞紙やペットシートをゴミ袋に入れて染み込ませるなど液だれしないよう工夫しましょう。

換気

陽性者もしくは疑いのある利用者の居室や共有スペースなどは、1～2時間ごとに窓を開けて5～10分程度の換気をしましょう。

●窓がある場合

CHECK!

- ・二方向の窓を開け、対角線で通風できるようにします
- ・窓が一つしかない、空気がよどむ場所がある場合は、換気扇や扇風機を使って空気の流れをつくります

*扇風機等は、空気の流れができるように居室にあわせて配置してください



●機械換気設備がある場合



CHECK!

換気のスイッチは、常に「入」にしておきます
空調設備のフィルターの清掃を定期的 to 実施しましょう



POINT!

- 空気清浄機だけでは換気はできません。必ず外気を取り込み、換気をしましょう。
- 窓を開けるだけでは換気になりません。部屋の空気がすべて外気と入れ替わるよう心がけましょう。

濃厚接触者への対応

濃厚接触の可能性を把握し、速やかに対応しましょう。

CHECK! 濃厚接触者の調査・特定は、原則、所轄の保健所が行います
保健所の指示に従ってください
*感染拡大の状況により、変更される可能性があります

CHECK! 感染拡大を防ぐために濃厚接触の可能性が高いと判断した場合、先行して対応を進めましょう

利用者の場合

濃厚接触者と特定

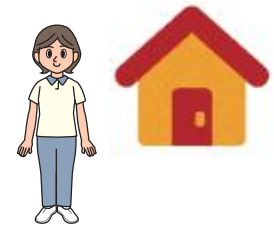
個室に隔離
陽性者と同様の感染対策を実施



職員の場合

濃厚接触者と特定

自宅待機



NG! 濃厚接触者同士は同じ部屋で隔離してはいけません

●濃厚接触の可能性

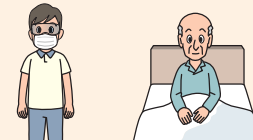
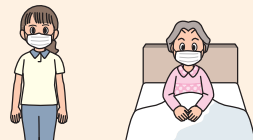
陽性者の感染可能期間中^(※)に

- 適切な感染防護なしに陽性者を診察、看護若しくは介護していた者（例：医療従事者・介護職など）
- 陽性者の気道分泌液もしくは体液等の汚染物質に直接接触した可能性が高い者（例：医療従事者・介護職など）
- 車内等で長時間（1時間以上）の接触があった者
- 手で触れることの出来る距離（目安として1メートル）で、マスクなしで15分以上話しをした者のいずれかを満たす方は濃厚接触となる可能性があります

(※) 陽性者が有症状の場合は発症2日前から、無症状の場合は検体採取日の2日前の接触から療養終了日まで

●ふだんから、取り組みましょう

CHECK! 新型コロナウイルスは目、鼻、口から感染します
利用者がマスクを外しているときの身体介護などでは、職員は、マスクとともに、アイシールド、ゴーグル、フェイスシールドなどで眼を保護することが重要です



	職員	利用者
マスク	あり	あり
フェイスシールド等	なし	なし

	職員	利用者
マスク	あり	なし
フェイスシールド等	あり	なし

(参考) (一社)日本環境感染学会／医療機関における新型コロナウイルス感染症への対応ガイド第4版



- 検査結果が陰性であっても濃厚接触者と特定されたら、一定期間の隔離や自宅待機等が必要です。
- 濃厚接触者としての隔離期間が終了すれば、利用者の隔離解除時や職員の職場復帰時の検査は必要ありません。

お役立ち情報

内 容	掲載ページ
■ 大阪府／ 社会福祉施設等向け 新型コロナウイルス感染症対応 早わかりブック 資料集（様式例）	この冊子のダウンロードの他、動画、資料集（様式例）などを掲載しています。 
□ 発生時やることリスト対応表	P.1「新型コロナウイルス感染症発生時のやることリスト」に応じて、業務の担当者をあらかじめ決めておきましょう。 
□ 職員用健康チェック表	職員の健康管理の記録の参考例です。 
□ 面会者健康確認表	面会に来られた方へ健康状況を確認するための参考例です。 
□ 個人防護具（PPE）の着脱ポスター	イエローゾーンなど必要な場所に掲出しておきましょう。 
■ 大阪府／ 社会福祉施設等における 新型コロナウイルス感染症対策	大阪府で実施した研修の資料やFAQなどお役立ち情報を掲載しています。 
■ 新型コロナウイルスに有効な消毒薬	
□ 厚生労働省／ 新型コロナウイルスの 消毒・除菌方法について	新型コロナウイルスの消毒方法等の情報がまとめられています。 
□ 厚生労働省／ 新型コロナウイルス対策 身のまわりを清潔にしましょう	有効な消毒薬や次亜塩素酸ナトリウムの希釈方法などを紹介しています。 
□ 経済産業省／ ご家庭にある洗剤を使って 身近な物の消毒をしましょう	界面活性剤の種類や台所用洗剤等を使っての消毒方法を紹介しています。 
■ 濃厚接触者	
□ 濃厚接触者等について （厚生労働省からの通知など）	濃厚接触者等に関する情報をまとめています。 

この冊子は、令和4年1月時点の情報に基づき、公益社団法人大阪府看護協会の監修により作成しました。



福祉部地域福祉推進室地域福祉課
〒540-8570 大阪市中央区大手前2丁目
TEL 06(6941)0351／ファックス 06(6944)6681
メールアドレス chiiikifukushi-g03@gbox.pref.osaka.lg.jp